



二月(閏)

きさらぎ
如月

心宿

(二月四日立春の節より)
月命丙寅五黄土星の月
暗剣殺なし

旧十二月大
正月小

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出入	満潮	干潮
1日	木	きのとひつじ	五黄	福井永平寺涅槃会撰心(7日迄)、 不成就日	廿二	先負	やぶる	井	大みう	6.42 17.08	23.08	9.47
2日	金	ひのえさる	六白	尾鷲まつり(1日~5日)	廿三	佛滅	あやぶ	鬼	神よし	6.41 17.09	8.50	20.38
3日	土	ひのと	七赤	節分、〇下弦八時一八分、豆まき、 奈良春日大社万灯籠	廿四	大安	なる	柳	●	6.40 17.10	10.11	15.25
4日	日	つちのえいぬ	八白	立春一七時二七分	廿五	赤口	なる	星	●	6.39 17.11	9.21	2.31
5日	月	つちのと	九紫	三隣亡	廿六	先勝	おさん	張	母倉	6.38 17.12	10.00	16.43
6日	火	かのえ	一白	新宮神倉神社火祭	廿七	友引	ひらく	翼	母倉	6.38 17.13	3.18	19.42
7日	水	かとう	二黒	北方領土の日、一粒万倍日	廿八	先負	とづ	軫	月とく	6.37 17.14	4.30	20.44
8日	木	みづのえら	三碧	こと始め、針供養	廿九	佛滅	たつ	角	大みう	6.36 17.15	5.00	22.26
9日	金	みづのと	四緑	不成就日	卅	大安	のぞく	亢		6.35 17.16	5.30	23.11
10日	土	きのえ	五黄	〇朔七時五九分、旧元日、島根出雲大社福神祭、 加賀管生石部祭、福島信夫三山晩参り、 水戸梅まつり(3月17日迄) 旧甲辰正月小	朔	先勝	みつ	氏	万よし	6.34 17.17	6.00	23.53
11日	日	きのと	六白	〇建国記念の日、奈良橿原神宮例祭	二	友引	たいら	房	神よし	6.33 17.18	6.29	12.09
12日	月	ひのえ	七赤	振替休日、初午、笠間稲荷初午祭、不成就日、 京都伏見稲荷初午祭、一粒万倍日	三	先負	さだん	心	神よし	6.32 17.19	6.56	12.46
13日	火	ひのと	八白	聖バレンタインデー、 奈良長谷寺だだ押し	四	佛滅	とる	尾	神よし	6.31 17.20	7.21	13.23
14日	水	つちのえさる	九紫		五	大安	やぶる	箕		6.30 17.21	7.44	14.02

暦日上、二月初頭には「立春」という春めいた節日だが、設けられているが、気候的に、雪または冷雨の日が多く、まだまだ寒波、寒風の荒れ狂うときである。
〔冠〕とくにこの頃に入ることでもないが、「立春」は陰暦の正月で、太陰太陽暦を使用する東洋の古い上の新年の起点とされている。したがって表紙裏の年齢早見表にも説明があるように、立春前日の節分までは、前年の生まれ年になる。この月は一カ月最少日の特異月で、しかもほぼ四年に一回閏日がある。
〔婚〕婚礼に直接関係ないが、十四日は「聖バレンタインデー」とい、欧米ではこの日、女性から男性にプロポーズをしてもいいという風習がある。
もともとバレンタヌス司教の殉教の日であるが、これにギリシア神話の女神のロマンスが重なったものらしい。最近ではわが国でも

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出入	満潮	干潮
15日	木	つちのと	一白	全国緑化キャンペーン、ねはん会、 横手かまくら	六	赤口	あやぶ	斗	十し	6.29 17.22	8.06	14.45
16日	金	かのえ	二黒	旧七草、全国狩猟禁止、日蓮聖人誕生会、 水沢黒石寺蘇民祭、松山椿祭(18日迄)	七	先勝	なる	牛	●	6.28 17.23	8.28	15.39
17日	土	かのと	三碧	〇上弦〇時一分、岡山西大寺会陽祭、三隣亡、 伊勢神宮祈年祭(23日迄)、八戸えんぶり(20日迄)	八	友引	おさん	女	百事よし	6.27 17.24	8.50	16.59
18日	日	みづのえ	四緑	アレキギー週間(17日~23日)、 八せん始め	九	先負	ひらく	虚	天おん	6.26 17.25	9.16	18.41
19日	月	みづのと	五黄	雨水二時一三分、一粒万倍日	十	佛滅	とづ	危	天おん	6.24 17.26	4.41	20.04
20日	火	きのえ	六白	不成就日	十一	大安	たつ	室	くゑ日	6.23 17.27	4.28	21.05
21日	水	きのと	七赤		十二	赤口	のぞく	壁	神よし	6.22 17.28	4.41	21.53
22日	木	ひのえ	八白		十三	先勝	みつ	奎	大みう	6.21 17.29	4.58	22.31
23日	金	ひのと	九紫	〇天皇誕生日、 京都醍醐寺五大力尊仁王会	十四	友引	たいら	婁	ぢう日	6.20 17.30	5.16	23.05
24日	土	つちのえ	一白	〇望二時三〇分、二の午、 大田原大田山土地蔵尊春大祭、 福井勝山左義長祭、一粒万倍日	十五	先負	さだん	胃	神よし	6.18 17.31	5.35	23.35
25日	日	つちのと	二黒	京都北野天満宮梅花祭	十六	佛滅	とる	昂	神よし	6.17 17.32	5.53	—
26日	月	かのえ	三碧	良忍上人忌、庚申	十七	大安	やぶる	畢	大みう	6.16 17.33	6.11	12.11
27日	火	かのと	四緑		十八	赤口	あやぶ	觜	十し	6.15 17.34	6.30	12.36
28日	水	みづのえ	五黄	不成就日	十九	先勝	なる	参	●	6.13 17.34	6.49	13.02
29日	木	みづのと	六白	旧二十日正月、八せん終り、三隣亡	廿	友引	おさん	井	母倉	6.12 17.35	7.09	13.28

プレゼントするならわしを
まねて、女性から男性にわ
たすチョコレートなどが盛
んに売られるようになった。
〔祭〕「節分」は、本来は
四季の移り変わる時、この
ことをいうのであるが、こ
に暦上の一年の最初の日の
立春の前日、地方によつて
は旧暦の大晦日(おおみ
そか)として、それぞれ伝
統ある行事が行われている。
一般的には「福は内、鬼
は外」と福豆(大豆の炒つ
たもの)をまき、この豆を
年齢の数(だけ食べる厄よ
けがある。終(ひいらぎ)の
枝にイワシの頭をさしたり、
ニンニクなど強い臭気のある
ものを添え「邪気」よけ
を行う風習もある。福豆を
まき悪鬼を払うので「追儺
(おにやらい)」とい、古くか
ら神社仏閣で、この儀式は
年男により行われている。
十一日は「建国記念の日」
として、国民の祝日になっ
ている。
二十三日は「天皇誕生
日」である。令和の年号に
ふさわしい天皇家のご繁栄
をお祈り申し上げる。